

お子さんの麻しん・風しん予防接種は お済みですか

～小学校入学準備期に麻しん・風しん第2期予防接種を受けましょう～

麻しん（はしか）は、熱・せき・鼻水などのかぜのような症状から始まりますが、やがて高熱と発疹が出ます。感染力が非常に強く、肺炎や中耳炎、脳炎を合併することもある大変こわい病気です。

風しんは「三日ばしか」ともいわれ、症状は麻しん（はしか）に似ていて、三日くらいでおさまります。大人になってからは重症化しやすく、妊娠初期にかかると先天性風しん症候群と呼ばれる病気をもった児（心臓病、白内障、聴覚障害など）が生まれる可能性が高くなります。



1 接種年齢

- (1) 接種日に清瀬市に住民登録がある方で、5歳から7歳未満で小学校就学前の1年間にある方（年度内に6歳になるお子さん）

※ 5歳であっても幼稚園の年中クラスや保育所の4歳児クラスのお子さんは対象ではなく、また、6歳であっても小学1年生は対象ではありません。

- (2) 令和6年度内に第2期の接種対象者（平成30年4月2日生まれから平成31年4月1日生まれ）であって、第2期の接種が完了していない方

2 接種期限

- (1) 令和8年3月31日まで
(2) 令和9年3月31日まで

3 費用

無料（上記接種期限以降に接種する場合は実費での接種となります。）

4 持ち物

清瀬市の予診票、母子健康手帳



第2期の麻しん・風しん予防接種をまだ受けていないお子さんは、接種期限までに、ぜひお受けください。

麻しん・風しん予防接種は、なぜ2回接種なの？

☆理由その①

1回の接種で免疫がつかなかった子どもたち（数%存在すると考えられます）に免疫を与えます。

☆理由その②

1回の接種で免疫がついたにもかかわらず、その後の時間の経過とともにその免疫が減衰した子どもたちに、再び刺激を与え、免疫を強固なものにします。

☆理由その③

1回目に接種しそびれた子どもたちに、もう一度、接種のチャンスを与えます。

はしかに特効薬はありません。予防接種で予防することが唯一の方法です！

はしかは大人になってかかると重症化する病気です。自らがかかること、他人にうつすことの両面を防ぐため就学前に、無料の定期予防接種を受けてください。

- ※ 接種の際には、市が送付している予診票が必要です。紛失等でお手元に予診票がない場合は、再発行いたします。詳しくは、清瀬市のウェブサイトをご覧ください。かお電話でお問合せください。
- ※ この勧奨通知は、なるべく予防接種標準期間に公費で接種していただけるようにお送りしております。ただし、接種実績が反映されるのに2か月程度かかりますので、行き違いで接種済みの際には、ご容赦ください。

《問合せ》 清瀬市福祉子ども部子育て支援課母子保健係 電話 042-497-2077